



タウンミーティング「まるちゃんカフェ」参加者の声まとめ

これからの魚住エリアにとって重要だと思うこと

★印は参加者が選んだ「特に大事だと思った・共感したアイデア」

	自分たちでやれること やるべきこと	行政が やるべきこと	行政と一緒に 協働でやれること		
A-01 ★★★★★★ 保育園の入りにくさ。 特にきょうだいと同じ園に入れなため、 送迎の負担やリスクも高いように思う	きょうだい加 点を増やす	連携園に確実 に入れるよう にする			
A-02 ★★★ 地域のイベントに若い人の参加が少ない もっと若い人（子）たちが参加できるようにする	自治会情報発信。世代間交流を 積極的に。集まりやすい会合。 若い人の意見尊重	各地域で若い世代の育成の取組 みをやる。→イベントの企画や 運営に参入	防災を意識で家族で参加で きるスタンプラリー等		
A-03 部活動の地域移行ができていない。廃部が多い	「まちづくり」の橋渡し。 NPOなど⇄行政⇄地域まちづく り団体 ★	市の担当と地域団体やNPOとの 連携で推進する			
B-01 ★★★★★ “くすのき” みたいなつどいの場所、憩いの場所	熱い想いをも つ！スタート	主体性が大切！	コープさん の集会室を 使う	あとはバト ンもらう	行政がその ムードを作 る！
B-02 ★★ 高齢化による担い手不足。 コミセンとか、場所はあるけどやってくれる人がいない！	募集チラシ	口コミ	行きたくても 行けない。た こバス、増や して！	窓口を分か りやすく	・社協？ ・まち協？ ・自治会
B-03 広報。いいことやってるのに知らない… 紙も必要、デジタルも必要。バランスも大切	口コミ	行きたいけど、 行けない！			





タウンミーティング「まるちゃんカフェ」参加者の声まとめ

これからの魚住エリアにとって重要だと思うこと

★印は参加者が選んだ「特に大事だと思った・共感したアイデア」

	自分たちでやれること やるべきこと	行政が やるべきこと	行政と一緒に 協働でやれること
C-01 ★★★★★ 若い人たちの遊べる場所 (商業施設やカフェ等)	何をしたいか若い人に聞く	体育館使えるようにして	広場、公園づくり 地元企業を活かした商業施設づくり
C-02 高齢者の居場所づくり(見守りも)	つどいの場をつくる	まずは自分の周りの人から！ご近所、家族とコミュニケーション	いきいき百才体操。毎週集う 場所は地域、支援は行政
C-03 普段からの人と人とのつながりをつくる	教えあいイベント、ブースたくさん。	おせっかい気味で関わる、あいさつから	コミュニティカフェなどに参加して、つながりづくり 個別避難計画づくり 多世代交流イベント 教え合いイベントに助成して！
D-01 ★★★★★★ 弱者支援 → 高齢者、子育て、障害者、防災。 見える化(手段)場・機会の提供(出会いの場)	場、機会、存在の顕在化。見える化、SNS活用	周りへの人への関心をもつ	マルシェの存在の宣伝。行政 + SNS、チラシ ★ 参加への敷居の高さを低くする！ マルシェへの若者の参加
D-02 ★★★★★★ 空き田畑の活用(市民農園など)	その野菜を使用して、多世代による料理教室	土地所有者への交渉	清水いちごのPR、高付加価値化 空き農地をフル活用して市民農園をつくり、つくった野菜をマルシェに
D-03 ★★★ 魚住駅の活性化・にぎわい作り！！ 大きいショッピングモールや 買い物したいと思えるお店がほしい	イベントスペースを作ってほしい	駅前活性化に向けた都市計画の見直し(市民参加)	都市計画を共に考える。魚住町民が声を上げる





タウンミーティング「まるちゃんカフェ」参加者の声まとめ

これからの魚住エリアにとって重要だと思うこと

★印は参加者が選んだ「特に大事だと思った・共感したアイデア」

	自分たちでやれること やるべきこと	行政が やるべきこと	行政と一緒に 協働でやれること
E-01 ★★★★★★★★★★ 異世代交流 地域、子ども、高齢者が関わる機会、 最終目標はお互い顔見知りの関係	どんなイベントをしたらいいか案を出す まちづくり協議会や自治会で広報してもらってイベントをする。	高齢者、地域の協力 企画者を幅広く、子育て世帯や高齢者世代で協力したイベント企画。	広報などでイベントの告知 イベント開催場所の確保
E-02 ★★★★★★★★★★ 「子育てサポーター」 気軽に集まれる場所が必要、イベントの実施 ← 市で広報	PTA・子ども会が減っている中、子育て世代が参加したくなる行事などを考えてほしい	子育て向けの講演やイベントの実施。市の後援があれば、信頼度が増して活動しやすい。	場所づくりは行政の協力
E-03 ★ 魚住17号池みんな公園。駐車場に防犯カメラ1台のみ 周辺に数台カメラ設置を要望したい、フェーズフリー	災害適応型公園にする 地域、子ども、見守り。登校に防犯カメラ設置	公園に避難所にも変えられる建物を作って。普段は、喫茶コーナーや休けい所に。	作業所と場所提供（行政）での就労トライアルカフェを明石公園や駅側に欲しい
F-01 ★★★★★★★★★★ 多様な社会 子ども、高齢者はよくでてくるが障害者のことが知られてない	各種団体の交流を密にする		
F-02 ★★★★★★★★★★ 人口増加に体制が追いついてない オンライン授業ない！小学校の定員超過や行事の縮小。 不登校対応。保育園問題。大学進学向け、奨学生へ給付を！	他市町村の状況を調べて伝えていく まるちゃんカフェのような話し合いの機会に参加する	教師の待遇をより良くする 実態を知る。取り組みを知らせる	課題もしっかり広報する。（良いところだけでなく） コミュニケーションの場。
F-03 ★★ 歩道や横断歩道がない！ 歩行者に危険な道が多い。ブロック塀や古い民家	ゆずり合いの心（歩行者優先） 交通ルールを守る	横断歩道など歩行者の道を作ってもらう ★	ヘルメット、反射板をつくる





タウンミーティング「まるちゃんカフェ」参加者の声まとめ

これからの魚住エリアにとって重要だと思うこと

★印は参加者が選んだ「特に大事だと思った・共感したアイデア」

	自分たちでやれること やるべきこと	行政が やるべきこと	行政と一緒に 協働でやれること	
G-01 ★★★★★ 良品農産物があるのに生産者の想いを消費者に伝える場所がない 生産者 ⇄ 消費者の交流の場	税金を納める	魚住エリアの農産物を小学校や中学校の給食に出す ★	ふるさと納税で明石の特産物をPR 魚住のお野菜を使った交流の場	子ども食堂での魚住産の農産物のPR・提供。高齢者の方への農産物消費活動 ★
G-02 交通の在り方。南北の交通問題	タコバスにたくさん乗る！	駅前レンタルサイクルを ★	健康体操ができる場の提供	
G-03 自治会のあり方を考える。 地域の住民との交流が少ない	若者防災トリプルエースの活動をPR。地域の防災力アップ	近隣の情報に耳を傾け目で見ると	住居との交流を増やすために中学校や小学校に呼びかけをしていく	各市民センターにWiFi。情報を共有したい 地区の整備等見守り。自治会から市に届けて早めに動く 一人住まいの高齢者へ、お食事会などへの声かけを、行政も地域も一緒に
H-01 ★★★★★★★★★★ 高齢者、障がい者、要支援者の居場所づくりと、 行き帰りの援助	広報含め今後でもできる限り自らも発信。出向く	居場所として、毎月場所や日を広報あかしなどでアピールする	居場所の運営に対して助成金を出してもらう	地域で関心を持ってくれる人を多くする 障害当事者として運営の中で自分たちでできることをする。 居場所巡回車を考える（施設と連携）
H-02 ★★★ 国道2号線清水交差点付近の交差点改良工事。 朝夕渋滞緩和策として	なるべくマイカーをのらず、公共交通機関や、徒歩、自転車を使う	時間差で通行を意識する	まずは実態調査	具体的な困り事を伝える。側溝のフタ、歩道の幅狭い
H-03 タコバス・現状維持。運転手確保 デマンド型（予約）は、どうか	たこバス利用を増やす	自らも働きかけて利用したり、交通体系を考えるワークショップの開催	乗務員さんと利用者の話し合いをもつ たこバス利用率を公表	運行業社と共にデマンド型検討（人か少ないルート中心に） 運転手不足解消につながる？





タウンミーティング「まるちゃんカフェ」参加者の声まとめ

これからの魚住エリアにとって重要だと思うこと

★印は参加者が選んだ「特に大事だと思った・共感したアイデア」

	自分たちでやれること やるべきこと	行政が やるべきこと	行政と一緒に 協働でやれること
I-01 ★★★★★★ JR魚住駅から魚住モールに通じる 通路をつくって欲しい（坂が急なため。利便性）	他のグループの活動情報を伝える	優先して予算を確保して欲しい 公園の環境の整備 健康体操ができる場の提供	公園の環境の整備 健康体操ができる場の提供
I-02 ★★★★★★ 駅周辺に学校に行きづらい人や 地域の人と福祉専門職の人が集まれるおしゃれなカフェが欲しい	通うのに六甲まで行くのしんどいから近くにできたらすぐにでも移りたい	魚住エリアに対しイベント補助を増やす 委託料支出。コンセプト作り～建設費	福祉専門職の人を集める 利用しやすい雰囲気や構造をみんなで話し合っつけりあげる カフェを建てる
I-03 ★★★★★★ 病児保育の場所を増やして欲しい （JR魚住駅周辺に！！）	作業所と場所提供（行政）での就労トライアルカフェを明石公園や駅側に欲しい	公園の環境の整備	
J-01 ★★★★★★ 農地を自然や農業を体験する場に。半農半Xがしたい人の場に。 昔からの農業従事者のしきたりが外からの新規就農や新しい取組の障壁になっていないか？	アクティブシニア世代が高齢者を見守る仕組みを作る。	近隣の人達との関係作り 空屋や農地の有無を住民の方と今後どうしたいか相談する	空き地や空き家、耕作放棄地の活用のバランスをみんなで考える 既存のしがらみや既得権が地域の活性化の妨げになっている 農地持つての方と学校をつなぐかけはし
J-02 ★★★ 事故多発地点の早急な改善。 山陽魚住から西部市民会館の間の交差点（信号が短い） 山陽新幹線と瀬戸川のところ等	学校に再度危険な場所を伝える	スクールガードなどボランティアで事故を防ぐ 自治会毎に問題のある道路をヒヤリング	事故多発エリアの早急な改善 防犯カメラの設置数を増やす どこで、どういう事故が多いのか、行政と共有する
J-03 ★★★ JR魚住駅前の寂しさ → 活性化 かつてあった本屋、カフェの誘致・整備コワーキング、フリースペース	駅前活性化のため、市民でやりたいこと、あったらいいことを募る	整備されれば方向が示されれば、ファンクラブなど利用促進 まちづくりの計画化。現コープ店舗ビルのフル活用策の策定	JR魚住駅前は、さびれた印象。施設の活性化が必要 屋台やイベントで駅前を盛り上げ活性化を行政と！ 魚住駅前活性化のアイデアを共創で取り組む

